

高校生が看護の現場を体験

～1日看護見学を実施～

看護部では、令和8年7月8日および14日に「高校生の一日看護見学」を開催し、県内の高校生10名が参加しました。

高校生の皆さんに、看護業務や看護職への理解を深めていただき、将来の進路選択の参考としてもらうことを目的に毎年実施しています。

病院見学・看護体験

放射線科



清潔ケア 手浴



バイタル測定



各病棟で看護師による車椅子介助や清潔ケア、バイタルサイン測定などの看護実技を見学し、実際の医療現場の雰囲気を経験しました。このほか、「普段入ることのできない救急外来や手術室を見学できて貴重な経験になった」「MRIなどの医療機器について新たに知ることができた」など、多くの学びや発見があった様子でした。

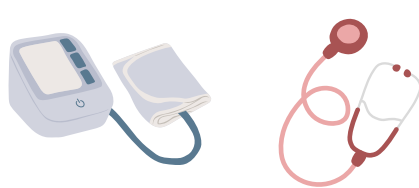
若手看護師との座談会

看護師を目指したきっかけや仕事のやりがい、学生時代の学習などの話を聞き、参加者からも活発な質問が寄せられました。その後「看護の道」の説明や進路相談を行い、看護職への理解をさらに深めていただきました。



患者さんだけでなく、多職種と連携しながら働いていることを知り、看護師という職業に興味がわきました

患者さんに寄り添う姿や、チームで協力して働く様子を見て、看護師という仕事に魅力を感じました



看護師の方が患者さんに優しく丁寧に話しかけている姿が印象的で、技術だけでなく思いやりも大切だと感じました



体験した高校生

今後も地域の高校生の皆さんに看護の魅力を伝え、将来の医療を担う人材育成につながる取り組みを継続してまいります